

# エレカッタ補足説明書

## ペンダントスイッチ



SBN 型

- ご使用になるお客様に必ずお渡しください。
- ご使用になるお客様は必ずお読みください。

 **新晃電機株式会社**

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂1丁目5番16号  
TEL(06) 6629-1123(代表)/FAX(06) 6623-1133(専用)  
U R L <http://www.shinkoh-electric.co.jp/>  
E-mail [sales@shinkoh-electric.co.jp](mailto:sales@shinkoh-electric.co.jp)

## ■安全に関するご注意

ペンダントスイッチに添付してある取扱説明書及びエレカットの取扱説明書をあらかじめ読んで理解してください。

- \*1 本説明書は、ペンダントスイッチに押釦電流センサー（型式 SBIU-HK□）の取付交換作業について説明したものです。
- \*2 ペンダントスイッチは新晃電機(株)製で、ケースの材質がポリカーボネート樹脂製とします。
- \*3 ペンダントスイッチとエレカット本体間はケーブルで配線し、その長さは 30m 以内にしてください。
- \*4 上記ケーブルは、動力線からできるだけ離してください。

### (A) 電源の“切” “入” 付のペンダントスイッチで、接点部ユニットに保持型ユニットが取り付いている場合

ここでは、型式 SBN-8-WH を例に説明します。

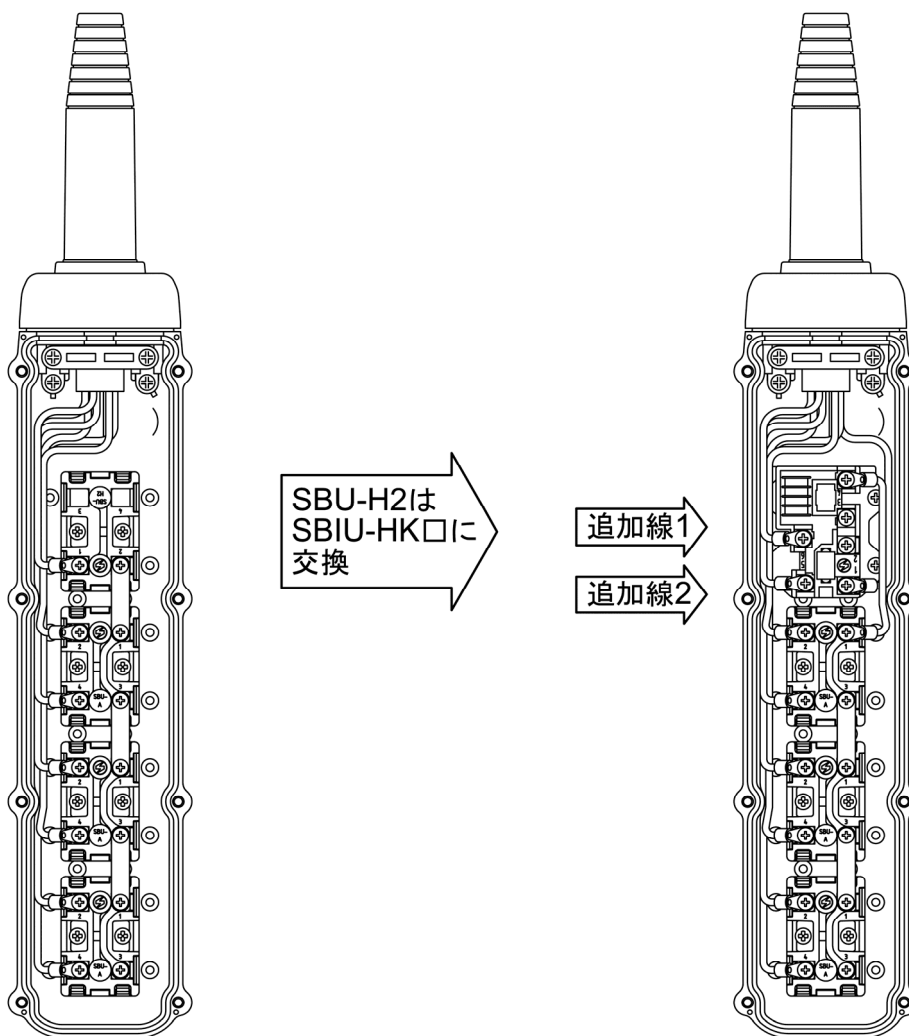


図 1 交換前

図 2 交換後

## ■交換方法

- (1) ウラブタを外します。
- (2) 接点部ユニット SBU-H2 を外します。
- (3) 押釦電流センサーSBIU-HK□を組み付けます。
- (4) 各ユニットに配線します。
- (5) ウラブタを閉めます。
- (6) SBIU-HK0、SBIU-HK2 は、特定電気用品表示ラベル（ユニットの付属品）をウラブタに貼り付けてください。

## ■交換上の注意

- (1) 押釦電流センサーSBIU-HK□を組み付けると、新たに配線の線数が 2 本必要となります。  
未使用線がない場合、ケーブルの交換が必要です。
- (2) 押釦電流センサーの一次側には、対象の電磁接触器等の励磁電流が流れるように配線してください。励磁電流は検出範囲内のこと。
- (3) 押釦電流センサーの二次側は、エレカット本体に配線してください。  
詳細は、それぞれのエレカットの取扱説明書を参照してください。

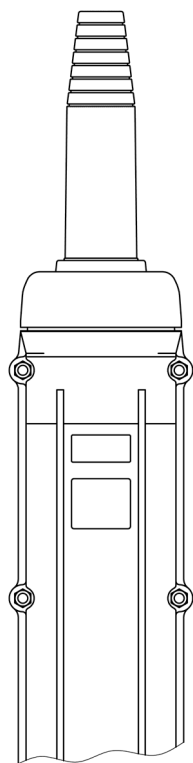


図 3 ラベルの貼付

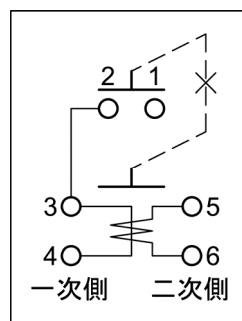
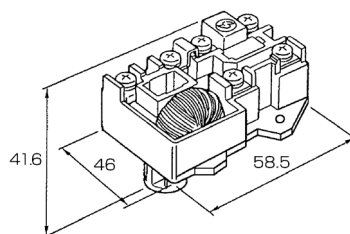


図 4 押釦電流センサー

## (B) 前述(A)以外のペンダントスイッチの場合

次のようなペンダントスイッチの場合には、押釦電流センサー付の新たなペンダントスイッチを購入してください。

- (1) 電源の“切” “入” のないペンダントスイッチ
- (2) 電源の“切” “入” のスイッチユニットが SBU-B の場合

例：現在ご使用のペンダントスイッチが、図 5 (SBN-8-WB) の場合には、新規購入のペンダントスイッチは、図 6 (SBN-10-WZ) になります。

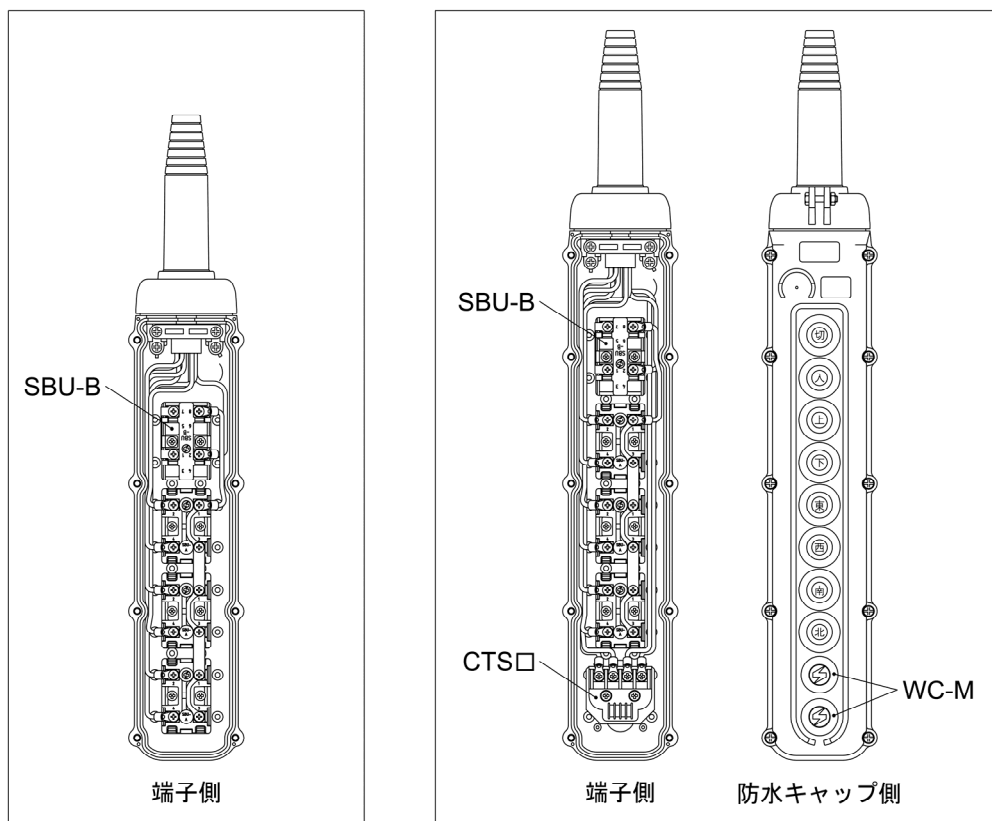


図 5 SBN-8-WB

図 6 SBN-10-WZ

注) ○押釦電流センサーとしては、SBIU-HK□と CTS□の 2 種類がありますが、この場合には CTS□が取り付くこととなります。

○SBU-B の取り付いているところに、SBIU-HK□は取り付けられません。

○この場合、(A)の場合と同じように、新たに配線の線数は 2 本以上必要となります。

### ■その他

○本説明書以外のペンダントスイッチについても、同様の方法で交換してください。

また、不明点はペンダントスイッチ内部の製造番号を確認の上、当社までお問い合わせください。

○これ以外の押釦スイッチ取り扱いについては、付属の取扱説明書を参照してください。

○本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。